

— 学校情報 —

令和4年5月1日

パリ総合美容専門学校千葉校

パリ総合美容専門学校千葉校の情報公開

- 公開 1 学校の歴史と現況
- 公開 2 授業の取り組みについて
- 公開 3 教育課程編成委員会
- 公開 4 学校関係者評価委員会
- 公開 5 自己評価
- 公開 6 学校関係者評価

公開 1 学校の歴史と現況

(1) 学校名

学校法人パリ国際学園 パリ総合美容専門学校千葉校

(2) 所在地

千葉県千葉市中央区長洲1丁目15番地12号

(3) 沿革

1931年4月	千葉県千葉市のパリー美粧院内に、上野世津が美粧講習所を設置
1943年12月	太平洋戦争下の電髪禁止令により美粧講習所を閉鎖
1946年4月	上野光蔵により、千葉市にパリー美粧学院を設置
1947年4月	千葉県知事公認指定取得
1948年4月	パリー美容女学校に校名変更
6月	財団法人パリー美容女学校設立
1949年7月	美容師法による、厚生大臣指定美容師養成施設の認可を取得
1952年12月	理事長兼校長に、上野世津就任
1954年4月	通信課程併設
1955年4月	夜間課程併設
1963年3月	夜間課程廃止 各種学校から専門学校へ移行
1978年4月	財団法人パリー美容専門学校に校名変更
1982年10月	北島吉春、理事長に就任
1992年4月	現在地に校舎移転
1998年4月	厚生大臣による美容師法改正に基づく美容師養成施設としての指定を受ける 修業年限変更
2000年4月	高等課程（夜間部）再設置
2007年4月	学校法人パリ美容国際学園に法人変更 パリ総合美容専門学校千葉校に校名変更 櫻井美津、校長就任
2012年4月	高等課程（午後部）併設
2014年3月	夜間課程廃止
2017年4月	学科変更 ・ 専門課程 総合美容科 ・ 専門課程 一年制トータル科 ・ 高等課程 総合美容科 ・ 通信課程 美容科

(4) 学科の構成（令和4年現在）

専門課程	総合美容科
	一年制トータル科
高等課程	総合美容科
通信課程	美容科

(5) 学生数及び教職員数（令和4年5月1日現在）

●学生数

- ①専門課程 総合美容科 1年 68名 2年 24名
- ②専門課程 一年制トータル科 21名
- ③高等課程 総合美容科 1年 25名 2年 15名
- ④通信課程 美容科
 - サマーコース 1年 24名 2年 8名 3年 6名
 - イブニングコース 1年 15名 2年 6名 3年 11名
 - ワンデーコース 1年 18名 2年 17名 3年 20名
 - 上記以外通信休学者 10名

●教職員数

- ①専門課程
 - 本務者 10名 兼務者 6名
- ②高等課程
 - 本務者 2名 兼務者 1名
- ③他職員 6名

(6) 学生納付金

(単位：円)

	初年度	二年度	三年度	合計
専門課程 総合美容科	906,000	767,700	-	1,673,700
専門課程 一年制トータル科	985,000	-	-	985,000
高等課程 総合美容科 ※	886,000	767,700	-	1,623,700
通信課程 サマーコース ※	310,000	210,000	210,000	730,000
通信課程 イブニングコース ワンデーコース ※	340,000	240,000	240,000	820,000

※の課程は、中学卒業者の場合は+10,000円（初年度に納入）

(7) 学生支援

①長期分割納付制度

通常納付が困難な学生に対し、本校独自の『長期分割納付制度』により支援している。
支払い期間は最長5年間、事務手数料は利息に換算して実質年3%。

②在学中の利息補助

外部の教育ローンにおいて『在学中のローン返済据置制度』を利用した際の利息を補助する。

③学生寮の設置

個人部屋で寮費は水道光熱費および共益費込みで月額15,000円とする。ベッド・テーブル・収納棚・冷蔵庫が完備、洗濯機・洗面台・トイレ・シャワールーム・キッチンが共有スペースとする。

④家賃補助

本校の寮を利用せず、1人暮らしを目的としてマンション・アパートを借りた場合、毎月家賃の30%相当を補助する。(上限18,000円)
補助人数は20名まで、対象者は実家から学校間の片道が2時間以上要する方。

基本理念

(1) 教育理念

校是

若き日に基礎・基本を鍛えよ

若き日に知識・技術を鍛えよ

若き日に精神力を鍛えよ

校是を開校以来の基本的教育理念とする。この基本の上に即戦力となるための応用技術・知識を修得し、加えて心身を鍛え美容界に貢献できる人材の育成を目的とする。

(2) 教育方針

1. 美容師養成課程における授業がまさに教育理念の「基礎・基本」である。この基礎・基本を試すのが美容師国家試験であり、本校の合格率はその成果を表している。
2. 応用技術・知識の修得で本校独自のものとして誇れるのは、都心の有名美容室のトップスタイリストたちが最新の美容技術を教えるゼミナール（職業実践教育）である。

重点目標

(1) 重点目標

美容国家試験に受かるための基礎力に加え、卒業後の現場で役立つ応用力を学ぶことで総合的な力を身に付ける。

『美のプロフェッショナルとして生きる力』を鍛える為、美容に関する知識や技術だけでなく、コミュニケーション力や表現力などを磨く教育を重視している。

(2) 取組状況・成果

取組状況

①学科科目

- ・技術や接客マナーを裏付ける理論を大切にしている。

②美容実習

- ・美容師国家試験に合格する為の実習カリキュラムの他、フォトコンテストやヘアショーなど、発想力と表現力を養う実践的な授業を行っている。
- ・現役美容師を講師とする坂巻ゼミを取り入れることにより、最新技術や接客態度まで取り入れた、生きた教育を行っている。
- ・選択授業を多く用意し美容師として必須技術以外の科目を学ばせることにより、就職の幅と、美容サロン就職後の活躍の場を増やす試みを行っている。

③学生生活

- ・就職ガイダンスを年に2回行うことにより自己の将来を見つめさせ、生徒の就職意欲を高めている。
- ・企業と連携し課外授業やサロンワーク練習を行うことで、就職後のビジョンを明確にさせる。

成果

- ・就職希望者の高い就職率を継続している。
- ・美容師国家試験合格率は、全国平均を大きく上回ることができた。
- ・令和3年度後期国家試験の学科の合格率は、全課程で100%を達成できた。

(3) 課題

- ・国家試験合格率100%を目指す。

(4) 今後の取組

国家試験合格率100%を目指すにあたり

- ・実技に関しては、タイム内での終了や完成度については毎年美容師国家試験合格圏内まで満たしていると思われる。しかしながら、教材の出し忘れや扱い方について、緊張から来るミスによるものが問題視されているので、その指導に一層力を入れていく。
- ・学科に関しては、多くの学生が苦手意識を持つ化粧品化学や新課題の運営管理、文化論の国家試験対策授業の内容を改めていく。

公開 2 授業の取り組みについて

(1) 美容師国家試験の結果

美容師試験は、基礎基本が修得されているかを試す重要な試験である。

美容師試験の合格率(新卒)			
	実技	学科	全国平均
令和3年度45回	92.4%	100%	92.3%

(2) 美容師国家試験対策として

現在の動向

- ① 美容師国家試験の課題発表後、生徒に対し試験と同じ合格基準を以て約4回の実技試験を行っている他、通常授業に対しても試験同様に臨ませている。
- ② 生徒が自主的に、あるいは教員から見て不安のある生徒は、放課後・休日を利用し教員と共に練習を行い、全生徒の実技・学科を合格基準以上に引き上げている。

改善点

- ① 前回の美容師国家試験の結果を踏まえ、失格者や不合格者が出ないように、早めの段階で対策の指導と心構えも含め、国家試験に使用する教材の最終確認にさらなる注意を配るようにする。

(3) 授業学科について

現在の動向

- ① 美容師国家試験に合格する為の実習カリキュラムの他、フォトコンテストやヘアショーなど、発想力と表現力を養う実践的な授業を行っている。
- ② 有名店 apish の現役美容師を講師とする坂巻ゼミ、全国屈指の美容室 ERICA のヘアアレンジの授業を取り入れることにより、最新技術や接客態度まで取り入れた、生きた教育を行っている。
- ③ 選択授業を多く用意し美容師として必須技術以外の科目を学ばせることにより、就職の幅と、美容サロン就職後の活躍の場を増やす試みを行っている。

改善点

- ① 施設整備に重点を置き、更なる衛生管理と生徒の学習意欲増進を図る。

公開 3 教育課程編成委員会

令和3年度委員名簿

委員	所属企業・団体名	役職名	概要
大串 哲史	株式会社 オオクシ	代表取締役	県内に美容サロンを 51 店舗 以上展開
松原 正左右	有限会社 ビューティマツバラ	会長	県内に美容サロンを 3 店舗展開
神田 範子	千葉県美容講師会	監査	有限会社ビューティサロンかんだ代表 千葉県美容講師会 着付講師
櫻井 美津	パリ総合美容専門学校 千葉校	校長	
櫻井 秀文	パリ総合美容専門学校 千葉校	副校長	

◆ 令和 3 年度第一回学校関係者評価委員会

1. 開催日時 令和3年7月9日（金）午後5時～7時

2. 議題

- ① 新型コロナウイルスの影響による授業方法について報告
- ② 前年度の国家試験について報告
- ③ 千葉県美容学生技術大会の結果について報告
- ④ +α の技術の取り組みについて検討

3. 経過及び結果

① 新型コロナウイルスの影響による授業方法について

前年度は、行事と外部講師の授業の大半を見送った末、中止したことを口頭で報告した。本校は保健所の指導に基づいて教室の環境を整えているため、今年度は1学期から外部講師を受け入れた授業の実施を行っていること、行事については今後の情勢によるが、学生生活の充実性も重視し、現在は実施するスケジュールを組んでいることを報告した。

② 前年度の国家試験について

令和3年度後期美容師国家試験の合格率は全課程で98%であり、次回も100%を目指す旨を報告した。「学生が苦手としている主な科目は何か」との委員からの質問に、学校側から「覚える作業が多い科目を苦手を感じる学生がいるが、2年生では理解度に合わせて指導するので、全員が国家試験前に合格基準になる。ただ、学科でも実技でも起こりうることだが当日の緊張による小さなミスが不合格の原因となることがあるので、今後も心理的な強化も加えて指導していく」と説明した。

③ 千葉県美容学生技術大会の結果について

今年度千葉県美容学生技術大会の出場人数は14名、入賞人数は5名であったことを報告した。委員より出場者の練習について質問があったので、学校側より説明を行った。

④ +αの技術の取り組みについて検討

資料と共に、本校で取得できる資格について説明を行った。委員より「広報の仕方になるが、選択授業で資格を取る事だけを『+α』として考えるのはもったいない。現場で働く技術者を外部講師として呼び、活用できる技術を直接学んでいるので、そのことについても『+α』の枠に入れ、広報したらどうか」と意見があった。授業内容については意見がなく、引き続き年度ごとに精査して行っていくこととなった。

◆ 令和3年度第二回学校関係者評価委員会

1. 開催日時 令和3年11月12日（金）午後5時～7時

2. 議題

- ① 新型コロナウイルスの影響による授業方法について後期の報告
- ② 前年度・今年度の国家試験について検討

3. 経過及び結果

① 新型コロナウイルスの影響による授業方法について後期の報告

①今年度の行事については、国内・海外研修、その他いくつかのイベントは見送りとなり、開催したイベントに関しても通常より簡易的に行われたこと、②全国の感染症の感染者数や緊急事態宣言を受け、授業時間の調整を行うなどして校内の感染者を抑える対策を行っていること、③今後はさらにオンライン授業を積極的に取り入れていく予定であることの3点を報告した。委員からオンライン授業が現在まで行われなかったことへの質問があり、「所謂【講義】にならないよう、教室にいるときのように生徒の反応を確認しながら授業の進行を行い、質疑応答がしやすい体制をオンライン授業で整えることの難しさが課題であった。美容師国家試験の全員合格のために授業内容の妥協ができず、準備を進めていた」と回答した。

② 前年度・今年度の国家試験について検討

前年度は全課程の美容師国家試験合格率は全国平均の合格率が85.6%であったのに対し、本校の全体の合格率は97.8%であった。実技に関しては100%の合格率を得られたので、過去の分析や対策の成果が得られたことを報告した。

委員より今年度の対策についての質問があったため、①去年度と同様、教員同士の技術の勉強会や、国家試験の衛生の技術を十分に繰り返し、生徒に自信を付けさせていくこと、②去年度の実技が何故100%を取れたのかをより分析し、連続して結果が出せる体制と、生徒指導への見落としが無いように、教員それぞれの指導方針

の向上を目指すことの2点を説明した。

また、学科に関しては1名が不合格だったので、苦手な教科をいち早く集中的に狙い、基礎的な問題の見落としが無いかを分析する事が重要だと説明した。委員より「生徒は学科の勉強方法のプロセスを理解できているのか」との疑問があがった。それに対し、①ただ授業に出席するだけでなく、教科書の内容を授業内で理解すること、②問題に取り組む際には問われている内容や文章の意味を理解すること、③実技とリンクしている内容については、技術と共に理解力を高めること、④練習問題を繰り返し行い、間違えた問題へのアプローチをし、見落としがないように徹底していくことhの4点をさらに生徒へ指導していくこととなった。

公開 4 学校関係者評価委員会

令和3年度委員名簿

委員	所属企業・団体名	役職名	概要
大串 哲史	株式会社 オオクシ	代表取締役	県内に美容サロンを51店舗 以上展開
松原 正左右	有限会社 ビューティマツバラ	会長	県内に美容サロンを3店舗展開
神田 範子	千葉県美容講師会	監査	有限会社ビューティサロンかん だ代表 千葉県美容講師会 着付講師

◆ 令和3年度第一回学校関係者評価委員会

1. 開催日時 令和3年7月9日（金）午後7時～9時

2. 学校関係者評価結果

1. 教育理念・目的・育成人材像

ホームページやパンフレット上にも掲載し、入学式などでも校長より説明を行い、ロビーには『校是』を掲げるなど学生に重ねて周知して認識させていること、その内容としては長期に渡り一貫しており、授業構成に反映させていることを説明した。委員からは「選択授業や講師の実習授業などで新しい技術授業を取り入れ、学校の教育理念に沿った授業内容であると思う」との意見があった。

2. 学校運営

規定に沿って適切に運営していることを報告した。委員からの質問や意見はなかった。

3. 教育活動

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で授業の実施に難航したが、保健所や学事課からの感染症対策の情報を取り入れた授業スケジュールを整え、単位の充足ができたことを報告した。また、教員研修については今後さらに校内・外部の講習の機会を設け、教員全体のスキルアップを図ることを課題として報告した。

4. 学修成果

委員より、令和2年度の国家試験合格率が98%だったことについて高い評価があった。学校側から過去3年にわたる退学者数の説明があり、今年度も減少を目指すことを伝えた。

5. 学生支援

本校における学生に対する支援は多岐に渡り綿密に行われており、問題が生じれば相談に応じて適切に対処していることを、事例を交えて報告した。委員より「休学・退学者数も少なく、学生に寄り添っていることがわかる。小さな悩みが膨らんだ結果、人生を大きく変えてしまうことが避けられるよう、美容学校でフォロー体制を整えて欲しい」との意見があった。委員・学校側の双方より、今後の課題は卒業後の動向について把握が出来るシステムを確立することであることがまとまった。

◆ 令和3年度第二回学校関係者評価委員会

1. 開催日時 令和3年11月12日（金）午後7時～9時

2. 学校関係者評価結果

6. 教育環境

①「施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか」について、保健所と千葉県からの連絡のもと、新型コロナウイルス感染症対策を十分に行い、設備を整えていることを報告した。また、今後はオンライン授業も活用していく計画があることを報告した。

③「防災に対する体制は整備されているか」についても、学校外で研修等を行う際は、万が一の災害を意識し、教員で避難経路等の情報を共有していることを報告した。

7. 学生の受け入れ募集

②「学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか」について、委員より「正確ではあるものの情報の発信力不足ではないか」との意見があり、学校側からは自己評価でも課題の1つに挙がっていることを説明した。委員からInstagramやホームページの利便性や有効な使い方についての説明があったため、学校側は広報部門と情報を共有することとした。

8. 財務

③「財務について会計監査が適正に行われているか」、④「財務情報公開の体制整備はできているか」について、例年通り財務諸表や監査報告書をホームページ上に公開している旨を説明した。

9. 法令等の遵守

①「法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか」について、定期的に千葉県より監査を受け、適正に運営していることを報告した。

10. 社会貢献・地域貢献

①「学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか」について、例年は中学校などを対象とした『仕事の学び場』に参加していることを報告した。③「地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか」については、教育訓練で社会人を受け入れていることを報告した。

公開5 自己評価表

パリ総合美容専門学校千葉校 自己評価表

1. 教育理念・目的・育成人材像

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
① 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4
② 学校における職業教育の特色は何か	4
③ 社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
④ 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3
⑤ 各学科の教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか	4

● 現状

- ・①について、ホームページ・パンフレットにも掲載し、明確に定めている。
- ・⑤について、メインとなる教育目標・育成人材像は確固としているが、美容業界の動向を機敏に捉え、求められる人材や美容技術のニーズを把握して授業に反映させている。

2. 学校運営

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
① 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
② 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
③ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
④ 人事、給与に関する規定等は整備されているか	3
⑤ 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
⑥ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
⑦ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
⑧ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

● 現状

- ・④について、学校法人全体を通して整備されている。
- ・⑦について、ホームページ上で誰でも閲覧できるように公開し、毎年更新を行っている。
- ・⑧について、新システムを取り入れるなどの改善の余地はあるが、急は要していない。

3. 教育活動

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
① 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
② 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
③ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
④ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
⑤ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
⑥ 関連分野における実践的な職業教育（連携による実習）が体系的に位置づけられているか	4
⑦ 授業評価の実施・評価体制はあるか	4
⑧ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
⑨ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
⑩ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
⑪ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3
⑫ 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3
⑬ 資質向上のための取組が行われているか	4
⑭ 職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

● 現状

- ・⑦について、ホームページ上でも公開している。
- ・⑭について、前年度は新型コロナウイルスの影響で、外部講習にはオンライン参加がメインとなった。

● 課題と今後の改善策

- ・⑭について、より多くの教員が研修を受ける機会を設け、スキルアップを目指していく必要がある。

4. 学修成果

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
① 就職率の向上が図られているか	4
② 資格取得率の向上が図られているか	4
③ 退学率の低減が図られているか	3
④ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
⑤ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

● 課題と今後の改善策

- ・①について、新型コロナウイルス感染症の影響も懸念されるが、100%を目指して就職支援を行っていく。
- ・②について、美容師国家試験のほか、各種検定でも合格率100%を目指す。
- ・③について、今年度は去年度よりも退学者が減少するように目指す。

5. 学生支援

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
① 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
② 学生相談に関する体制は整備されているか	4
③ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
④ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
⑤ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
⑥ 学生の生活環境への支援は行われているか	4
⑦ 保護者と適切に連携しているか	4
⑧ 卒業生への支援体制はあるか	3
⑨ 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

● 現状

- ・①について、就職担当とクラス担任による支援とフォローを行っている。
- ・②・③について、担当する部門の教員・職員が連携を取り、学生の負担を取り除くよう努力している。

● 課題と今後の改善策

- ・⑧について、今後はより一層整えていく必要がある。

6. 教育環境

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
① 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
② 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか	4
③ 防災に対する体制は整備されているか	3

● 現状

- ・③について、担当者を決めて整備されている。

7. 学生の受入募集

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
① 学生募集活動は、適正に行われているか	4
② 学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	3
③ 学生納付金は妥当なものとなっているか	4

● 課題と今後の改善策

- ・②について、より積極的に広報活動を行うべきである。

8. 財務

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
① 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3
② 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3
③ 財務について会計監査が適正に行われているか	4
④ 財務情報公開の体制整備はできているか	4

● 現状

- ・③・④についてホームページ上で公開している。

9. 法令等の遵守

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
① 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
② 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
③ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
④ 自己評価結果を公開しているか	4

● 現状

- ・④についてホームページ上で公開している。

<以下は任意>

10. 社会貢献・地域貢献

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
① 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
② 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
③ 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4

● 現状

- ・②に関して、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で活動ができなかったが、落ち着き次第再開する予定である。

公開 6 学校関係者評価表

1. 教育理念・目的・育成人材像

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
① 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4
② 学校における職業教育の特色は何か	4
③ 社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
④ 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4
⑤ 各学科の教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか	4

2. 学校運営

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
④ 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
⑤ 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
③ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
④ 人事、給与に関する規定等は整備されているか	3
⑤ 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
⑥ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
⑦ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
⑧ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

3. 教育活動

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
① 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
② 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
③ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
④ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
⑤ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
⑥ 関連分野における実践的な職業教育（連携による実習）が体系的に位置づけられているか	4

⑦ 授業評価の実施・評価体制はあるか	4
⑧ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
⑨ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
⑩ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
⑪ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3
⑫ 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3
⑬ 資質向上のための取組が行われているか	4
⑭ 職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

4. 学修成果

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
② 就職率の向上が図られているか	4
② 資格取得率の向上が図られているか	4
⑥ 退学率の低減が図られているか	4
④ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
⑤ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

5. 学生支援

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
⑨ 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
⑩ 学生相談に関する体制は整備されているか	4
⑪ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
⑫ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
⑬ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
⑭ 学生の生活環境への支援は行われているか	4
⑮ 保護者と適切に連携しているか	4
⑯ 卒業生への支援体制はあるか	3
⑨ 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

6. 教育環境

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
④ 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
② 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか	4
③ 防災に対する体制は整備されているか	3

7. 学生の受入募集

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
① 学生募集活動は、適正に行われているか	4
② 学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	3
③ 学生納付金は妥当なものとなっているか	4

8. 財務

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
⑤ 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
⑥ 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
⑦ 財務について会計監査が適正に行われているか	4
⑧ 財務情報公開の体制整備はできているか	4

9. 法令等の遵守

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
② 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
⑤ 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
⑥ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
④ 自己評価結果を公開しているか	4

<以下は任意>

10. 社会貢献・地域貢献

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
③ 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
④ 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
③ 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4